

# 大野木グラウンドワークだより

平成 22 年 6 月 16 日 発行 NO 44

発行責任者 藤田 博、伊藤 晋

6 月 6 日 (日) はこれまでと違った変則時間でほたる対応の時間検証も兼ねてということに 14 時集合になりました。(女性陣は 13 時集合)

ファイヤーサークル周辺は産廃処理場みたいになっていて柴崎さん宅の天井から横木まで持ち込まれ、また、近辺の枯れ竹の処分地化して夏日のなかで大火をたいて大汗をかいて、でも、ここに地域の環境整備に寄与できる焼却場があることは一つの役割を果たしていることになるのでありまして

ドーン、パーンとあちこちで竹の破裂する音が景気よく聞こえ、森の中もきれいに草刈られ見違えるようにさっぱりしました。

竹を削って勝巳さんと稔さんが上手に品書きプレートを作ってくれて、それに善次さんに達筆をふるっていただきました。それで、ドーナツ、米、飲み物、コースターのセットで 500 円は高すぎ！ いえいえ 組み合わせでおつりの都合でワンコインで などなど若干の論議がありまして、結論はお値段はシンプルに 500 円として組み合わせとニーズでその場の値動き対応をしていくことで落着。

夕刻時におにぎり佳子さんから日本海の鮎が振舞われまして、この鮎は秀夫さん親子が入れ食いの大漁節のおすわけだそうでした、琵琶湖の鮎に比べて大型でおいしくいただきました。

屋台の位置を少し奥に移動して薄暮になって 40W ライトも一個で OK と調整。

が、同時に藪蚊の襲撃が始まりそこで鎮火していた焚き火を達夫さんが復活してくれて、そこへ刈りたての草がほり込まれると煙がくすぶり効果てき面

観光課からもほたるチェックマンが訪問

さてさて、8 時過ぎの撤収は屋台の折りたたみ、資材のまとめ、コードをもったのライト移動、最後はコードリールを巻き取りに、そこでは晋さんのバッテリーライトが活躍、いち早く佳子さんに物置小屋の入り口を車のライトで照らしていただいて、皆さん見事な連携プレーで無事ほたるリハーサルが終了いたしました。

参加者は 21+2 名でした。

6月3日

余呉に「結いの家」の視察に清水さん吉田さんと三人で出かけました。

余呉支所で池畑副参事さんから、交付金制度を使った適合高齢者専用賃貸住宅のハード整備と大樹会のソフト運営の実態を学び、地元の空家と地元の人材で地域共生のサイクル・モデル～介護保険をツールに多世代交流の場、自立支援グループ、小規模グループホームの例などDVDをもとに解説いただきました。さすが厚生省の過疎モデルとしてPRされているだけのことであり、長浜市への合併前のすばらしい取り組みを拝見できました。

これも地元でそれだけの熱情あふれるコーディネーターがいたればこそと思います。

大野木に重ね合わせて若干の質問をして得たところでは、まずは地域の活性化プランを樹立してそれを行政部局に当て介護保険計画の3年ごとの改訂に乗せること、また、社協にはソフト面での要請をしておくことかな～ともかくも相当長いスパンでの戦略が必要と見た。

次に池原の「結いの家」を見学してびっくり、すごい豪邸に4人が共同生活をなさっておられて、年を伺うと92歳と90歳とお話をしていますとしっかりされていて最近、新聞とかテレビなどで紹介されていて外部の人との対応もスムーズな感じで好印象を受けました。それから近くの手打ちそばをいただいて、これはほんとにおいしかったです。

次に大見公園の炭窯を見学に向かいまして、ルートは303から川合を経て丁度管山寺の下の検討になりますが、林さんにいろいろ伺いました。窯は大野木の倍くらいの大きさで山の傾斜部をうまく利用して掘られていて、7年経過するがひび割れは一箇所もなく炭も立派なものが出来上がっていました。土は隣にあるもので林さんが水を少し含ませて握り手渡されたものを受け取りますと、確かにねばりがあることがわかります。こぶし大の石は除くとしてもほとんどの石はそのままに叩き込むことによって締まるのだそうです。

そう言えばジャミも小石があるから締まるともいえるのでは、再再度天井を落としてこの土で再構築することも視野に入れて土の交渉をいたしたところ、気を良く「トラックに積み込みはこっちでやってあげますで」と返事いただきました。

帰りは下丹生から365を帰ってきました。

ということでしっかりした土が入手できる手はずが出来ましたのでこの秋から冬にかけて天井をやり直すことにいたしたいのですが、

6月12日(土)は15時集合、シャトルバスが18.30から近江長岡駅を順次出発：大野木政所川に観光客を運んできました。これはホテルの鑑賞にあたっては、路上駐車、ゴミの不法投棄など、近隣住民、ホテルの生育環境に悪影響となる行為を制限するために観光協会が設けたシステムで、米原市内で3箇所 大野木政所川と本郷と油里川。駅または臨時駐車場からバスが21.30までピストンしてホテル観光客を運んでくることに。

で、これに先行してホテル体制を組みまして9時に社員クラブへ11名の方に動員をお願いいたしました。朝から気温はドンドン上昇、明日の夜は雨が確実だから本日のみの実施になるとのことから今日一日の覚悟で皆さん朝から気合充分。

まず計りに薄力粉、強力粉、砂糖、卵、ベーキングパウダー、マーガリン、牛乳、塩をよくこねて20g棒状で160cの油揚げで、ところが勝巳さんが「20gで丸めるなんて」計りに乗せて「検査OK」えーそんなにシビアにやるのですか、調合、ねり、丸める、揚げるの作業手順が9.40過ぎから軌道に乗り出しました。

実乃里、杏香ちゃんがコップを並べてドーナツを3本ずつ入れてダンボール箱40個と30個の子ども会差し入れ用に70個完成、次は今夜のワンコインビジネスの100個の詰め込み。

洋子さんちの藪で「真竹」を取ってきててんぷらに、おにぎりが手際よく出来上がり昼食にその間に神田と政所のホテル合戦に～シャトルバスのルート変更もどうか、で、中川さんに連絡し何度も心配をかけることになってしまいました。結果は急なハンドルは切れない、リスクはとらない観光課の指示とおりで到着。

午後3時には男性陣が集結、照寿氏のアイデア屋台のセッティングはリハーサル済みですからスムーズに完成。補給台、バックスペース、植木市の位置取り、ライトの角度、レイアウトは順調にあって、ロングタイム用のくすべ焚き火に朽ちた大木を藜治、大祐の両氏がセットしてくれて、バーベキュー炉とファイヤーサークルで煙出し、手洗い用の冷たい湧き水を汲みに。

そこへ清水さんからストラップ、マジック商品の提供があって屋台の品揃いがにぎやかになってスタンバイOK。

黄昏とともに第一陣が到着、こどもたちにターザンロープ、大ブランコをすすめると親がスゴイと夢中に、水野さんが特性めがねをはめて「いらっしゃい、いらっしゃい」と鼻と立派なひげ付きのメガネに一同びっくり仰天。本人は名調子で「はーい、ビールはどうか、はーい、いらっしゃい」と屋台の雰囲気が出てきました  
とも君もおばちゃんと一緒に「いらっしゃい」をしてくれて

まだ薄暮のうちは政所川沿いに手をつないで散策するアベック、こどもたちの歓声、ホタルの話とそれぞれに時間をつぶして、そのうち第二陣が到着し人数は増えてきたがホタルの火は見えず、そのうち「まだ出ない」「どうなの」などと川沿いにウロウロ集団がうごめいていて。風は止んだし、温度もあるし、もうそろそろホタルよ出て来いと願ってから 30 分経過、と、1 匹、2 匹と川下あたりに点滅あり、しばらくするとあちこちで突然ざわめきが起こりホタルが 5~6 匹ずつ飛び回り始めだんだん数が増えてくる。

「あっ、あそこにも」「うぁスゴイ」「ホタルってこんなにいるんだ」「来てよかった」と観客がうれしいお話をしてくれています。

次から次へとバスが到着して人は増えてくる、そこへ大野木ウオーキングのちびっ子たちが殺到してきた。おもかるさんで知り合いの彩矢香・理沙ちゃん姉妹、ひまり・きらりちゃん姉妹、優・来君の兄弟、中学生も自転車で幸輝君、樹君、歩君たちの笑顔が見える、「おばちゃん」「ジュースちょうだい」「パパと離れちゃったの」とれおなちゃん、あいさちゃんはママと浴衣姿で、それぞれに「ピース、ピース」して写真の催促、たくさんのかどもたちのうれしそうな顔々はも一最高ですね。親子ウオーキングの一行は 70 人を越えているようです。いつものこどもたちが夜の屋台でホタルを舞台に少しばかり興奮しているのか、初夏の夜にこんな場面の思い出は第二、第三の DNA として刷り込まれていくのでしょうか。

もう屋台は人混みに大変なにぎわい、ホタルがどんどん上昇していく様子を多くの観光客がじっと眺めている～このイベントをやってよかった。

9 時を少し回って撤収開始、飲み物、ドーナツ、セットものなどなどを軽トラへ積み込み、屋台の解体、と、そこへまだマイカーの観光客らしきペアが 2~3 組「何か飲み物ありませんか」こどもが「ジュース」さて、どこに何を積み込んだか暗がりの中で紙コップをもってウロウロするおばちゃんたち

軽トラのライトと晋さんのバッテリーライトで屋台周り、電気周りのものを物置小屋へ収納、出品物は社員クラブにとりあえず撤収して 10 時にやれやれ落着、あとの始末は翌日の 9 時からとして解散することに

市役所観光課の話では 300 人超の人出であったとのこと

グリーンツーリズムの事業イベントとして満足

朝 9 時から夜 10 時までで実に 13 時間ご一同お疲れ様でした、

この暑さの中で皆さんほとんど立ちっぱなしで大汗をかいて

こんな時代に、この里山で仲間とともに地域貢献の達成感を味わえて

この喜びを大いに誇りに思う次第であります、ありがとうございました。

最後にクラブで皆さんから気付きの弁を若干伺うことが出来ました。

- ・ 良かった、良い経験になった
- ・ 屋台の縦横の補強が必要ではないか、前はすだれを開けてやった方が
- ・ 下の外灯をカバーするように、長岡はやっている。作業車がないと
- ・ 9時で終了は早すぎるのでは
- ・ 竹ローソクは良かった
- ・ 地図に政所の案内を入れてもらうことに
- ・ 政所公園で遊べる、食べ物、飲み物ありと

義弘さんから会計報告があって売り上げ総額とウオーキング提供分の合計が材料費とイーブンでした。ということは儲けは無しということです、が、この小さなイベントへの思いとやり切った意味は大きなものがあると感じております。

今後のスケジュールとして

- ・ 7/10（土）学期末字別児童会から森遊びにこどもたちがやってきます。  
10時半ごろからカブト虫の巣の中で～
- ・ 8/22 バーベキュー
- ・ 9/12 臥龍公園へ屋台をもって出陣いたします、準備の打ち合わせ女性陣中心に
- ・ 9/19 定例ワーク：主に竹切を
- ・ 10/18 事前準備：主に竹切を、女性陣には中学生一行を含めた食事の仕込みを
- ・ 10/19 柏原中学校一年生の里山体験学習：パートごとの指導体制で
- ・ 11/16 炭窯：天井再生には3日くらい連続作業を

これまでの実行プロジェクトの整理とこれからの展望

- ・ 竹林整備
- ・ 森づくり
- ・ 物置小屋づくり
- ・ ブランコとターザンロープ
- ・ 里道再生
- ・ 観察デッキ
- ・ 炭焼き
- ・ 中学生の体験学習
- ・ ホタル屋台
- ・ 森あそび
- ・ 実のなる木の植栽

これから

- ・ 屋台の出張交流
- ・ 丸ごと保全会との連携
- ・ 自然エネルギー実験
- ・ 陶芸・パイ窯
- ・ インディアンテント



次回は**7月10日(土)**です

子どもたちが学期末字別児童会の後～政所夢塾公園にやってきます  
森遊びをしてカブトムシと対面します  
お世話方よろしくお願ひいたします

# 大野木グラウンドワークだより

NO44

平成 22 年 6 月 6 日 & 12 日 (晴れ)



## ほたるまつり 特集号

軽トラックの荷台が屋台に変身・何処でも移動可能です。



ホタルブクロも歓迎咲き始めました。

飲み物・おにぎり・ドーナツ・こだわり米  
ペンたて・ホタルストラップ・お花苗  
ビールは如何ですか。おみやげにどうぞ。



公園には沢山のお客様が来て下さいました。



お客さんもVサイン・お買上ありがとう



朝からドーナツ揚げ 200 人分



名古屋・大阪等遠方から約 200 人の方・大野木ほたるウ  
ォーク 子ども会から約 70 名 みなさんありがとう。

## 政所川に飛び交うほたる



## 手づくりおもてなしのスタッフ

次回は 7 月 10 日 (土) です。よろしく